

エクストリームシリーズ2007 奥大井大会

奥大井大会優勝チームコメント

チームイーストウインド 田中 陽希 さん

先月末に、中国でのレース後、日本に帰国してからのチーム・個人の課題が多大な中、チームとして今回の大会に参加することにより何か変化を得ることができるのかを話し合った。チームキャプテンは参加は今のチーム状況では難しいと考えていたが、前回の尾瀬松枝大会に参加した私と山北は参加したいと考えていた。なぜなら前回大会でのチームの名を汚してしまう行為、自分自身に対する雪辱を払拭したいという気持ちが強かったからである。

僕らの強い気持ちもあり、チームは参加することを決意。シリーズ優勝・総合優勝は当然のことであるとチーム内で確認し、自分たちが今目指しているものは何なのか、常に意識しなければいけないのは世界であると個々に、そしてチーム全体で初心に戻り意思統一をした。

そのため、レース中は常に今の最善を尽くせるよう、頻繁にコミュニケーションをとり励ましあい、同じ目的に向かってレースを進めることができた。チームの集中力は終始切れることが無かった。また、今回の大会での目標としていた後続チームとのタイム差を2時間としていたが、実際のところは1時間半、残りの30分にはどういった課題があるのかもこの大会に参加したことで、明確となってきた。この課題がはっきりとチーム内で共有できたことを考えると今回の大会に参加したことは良かったと結果的には言えるだろう。

どんな状況であろうとチーム内で協力して常に前を目指し、同じように喜んだり、悔しがったり、時には意思の衝突があったり、ここがアドベンチャーレースの難しいところでもあり、魅力でもある。

今回、シリーズ戦4回の内3回の優勝ができ、総合優勝もすることができた。

次回、四国の大会で多くのアドベンチャーレーサーと又お会いできることを楽しみにしています。

奥大井大会参加チームコメント

VAMOS 木田 克人 さん

私たちVAMOSは去年9月の奥大井大会に初出場し、今回が4度目のエクストリーム出場でした。特に今年5月の奥多摩大会からはメンバーも固定し、気持ちを一つにして、何度か合同練習もし、完全完走を目指して楽しく頑張ってきました。そしてついに今回、初めての完全完走をすることができました！

VAMOSは、ランに自信がある近藤、スポーツは何でもこなす宇多川、山男のキャプテン木田（私）の3人。アドベンチャーレースについては素人で、とにかく「やる気」とチームワーク（常に声を掛け合い、騒がしい）で持っているようなチームです。

■ スタートのチームチャレンジで2位

初めのチームチャレンジで、ランが得意な近藤がダッシュして下流のポイントに一番乗り！その勢いに乗ったのか、お茶・水とも一発で正解を当て、2位で抜けました。過去3大会ではTCで殆どビリだっただけに、これだけで有頂天（笑）

■ CP1~4

MTBの不得意なVAMOSは、CP4までの間に“順当に”他チームに抜かれ、順位を20位ぐらいまで落とします。でも2位との差が20分以内と聞き、「やる気」を出して頑張りました。

いつも「VAMOS！！」等と叫んで騒々しいので、ご迷惑に感じた方々もいるかもしれませんが・・・この場を借りてお詫びします。。。

■ CP5、6

完全完走できた要因は、2つあると思っています。ひとつは、苦手としてきたMTBのダウンヒルを練習してきたこと。CP4からの下り、今までの我々とは違って 殆ど乗車して下れました。

もうひとつは、地図読みが完璧だったこと。元々比較的得意だと思っていた地図読みですが、今回のCP5からCP6への下りでドンピシャとはまりました。等高線とほぼ並行に走る林道から、CP6に直接降りる尾根を下る作戦をとり、見事に作戦通りにCP6をゲット！下りた尾根は数も薄く、体力の消耗も少なくて済みました。

■ CP7~11

CP8～10を各自が全力で取り終え、CP11に戻ったのは脚きり時間の45分前。夢にまで見た、完全完走（の権利）がそこにありました！ 純粋にすごく嬉しかったです。CP11のスタッフの方も同じように笑顔で喜んでくれたのが印象的です。

■ CP12～15

初めてもらう、「ゴール」の文字が書かれた指示書。それだけで感動しました。その勢いを保ち、最後のCP15に到着するや、3人でCPのボックスに抱きつきました！近藤と私にいたっては、ボックスにキス。バカですね～。でもとにかく、それぐらい嬉しかったのです。

そしてついに、念願の、初の完全完走のゴール！！ もう最高の気分です。3人で抱き合い、涙しました！ エクストリーム最高！！

最後になりましたが、楽しい大会を企画してくれた我部さん始めスタッフの方々、いっしょに切磋琢磨してきた友人チームの方々、全参加者のみなさま、そしてもちろん、熱いチームメイトに、心から感謝します。また来年のシリーズでもよろしくお願ひします。